

(様式第2号)

## 協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。

提案団体名	団体名	特定非営利活動法人 YouthCreate (担当者 原田 謙介 )			
	合同提案団体 ( * 協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)	野村教育研究所：中高生の伴走者となるための企画や体制づくりに関して			
協働する岡山市の担当課等と担当者	課名	選挙管理委員会事務局		電話	086-803-1545 内線 4 8 0 3
	担当 2名	職名	選挙担当課長	職名	主査
		氏名	薬師寺孝雄	氏名	松永倫明
提案事業の名称	若者と政治をつなぐ場づくり事業				
提案事業の目的	若者が身近な街を知ることを入力として、街の政治を自分事として捉える。そして、街のことを気軽に話し合うことで、他者の視点も考慮しながら、自分の考えを醸成し、主権者となっていく。そのための場づくりを行う。				
解決をはかりたい課題の緊急性・重要性等(市民ニーズ含む)  ※ニーズ把握等で行った調査資料等がある場合は添付してください。	<p><b>1. 解決をはかりたい課題と現状</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 若者の投票率が、他の世代に比べて低い状況</li><li>・ 身近なはずの地方政治(岡山市政)への若者の関心が低い状況</li><li>・ 市政についての情報を気軽に知ることができる身近な場が少ない状況</li><li>・ 若者が他世代の人と身近な地域の政治や街のことを気軽に語り合う機会がない状況</li></ul> <p><b>2. 市民ニーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 18歳選挙権への変化を契機に若い世代の選挙への関心が高まりつつある</li><li>・ 投票には行っていないものの、政治に関心がないわけではなく、気軽に知る機会がない</li><li>・ 岡山市への愛着はあるが、国政に比べメディアでの情報などが少なく市政のことを知る機会がない</li></ul> <p><b>3. 課題解決の方策</b></p> <p>奉還町商店街に拠点を作り、政治的な中立性を保ちつつも、市政の現状などを扱いながら、若者の政治参画事業を行っていく。<u>※拠点を今後「スポット」と記載する</u></p> <p><b>【3-1 市政の情報や現状を知る機会を増やす】</b></p> <p>そもそも、岡山市の現状についてあまり知る機会がない状況を解消するため、まずは判断や関心のもととなる情報を若者に届けていく。ストレートに「市政の情報を知ろう」では届かないため、様々な工夫を凝らし若者に届ける。</p> <p><b>【3-2 人から学ぶ】</b></p> <p>テーマに関連する活動を行っている団体の方、部署の行政職員、様々な政治家の講演や、双方向性の交流を通して市政への関心を持ち、考えを深めていく。人を通じて学ぶ方法は非常に有用であると考え。</p> <p><b>【3-3 みんなで気軽に語る】</b></p> <p>政治の話はタブーだという社会風潮を変える必要がある。政治や市の様々なことに関する話を知識の量に関わらず、みんなで楽しく話す場を作る。</p> <p><b>【3-4 社会課題に関心はあるが、政治に関心がない人と政治をつなぐ】</b></p> <p>地域の活性化・教育分野など様々な社会課題に関心を持ち、そしてアクションを起こしている若者の数は増えているが、全員が(地方)政治への関心を持っているとは限らない。しかしながら、関心のある分野と政治をつなぐ場を作ることにより一気に政治を自分事として捉える例が大いにある。そのような場を作る。</p>				

	<p><b>※審査会後以下追記</b></p> <p>■ 2つのターゲット層</p> <p>(1) 出前授業などを通じて政治や街に関心を持った人の関心の持続と高まりの場  18歳選挙権を契機とし、学校での通常の授業や選管などの出前授業などにより、政治や選挙に対する関心を持つ機会が増えている。弊団体も1年半で40校以上にて出前授業を行っており、関心の高まりを実感している。しかしながら、関心を持って日常の中で積極的に政治について話をする機会はほとんどないとの調査もある。日常で政治の話をするを安心して積極的にできる環境づくりを進めていく必要がある。また、彼らが受け身で学ぶだけでなく、企画を作る担い手側になっていく状況へとつながる。</p> <p>(2) 気軽なフリースペースを求める層の主権者意識を伴走者とともに高めていく場  目的のある単発の「イベント」ではなく、目的のない日常の「場」の強みは多様な層に働きかけが可能であること。政治には強い関心があるわけではないが、とりあえず気軽に使えるフリースペースを必要としている人は多い。試験前の勉強の場や、Wi-Fiの使えるちょっとした時間つぶしの場としての効力を持つ。そのような来場者が、伴走者（大学生や専門家）とともに少しずつ政治や選挙への関心を高めていくことができる。</p>
<p>協働の必要性  及び効果と目標    (協働の役割分担を含む)</p>	<p><b>1. 協働の必要性と相乗効果</b></p> <p>◎ <u>少子高齢化・人口減少社会</u>  少子高齢化・人口減少社会に突入し、これまでの当たり前が通じない社会になっている。新たな社会を作るためには社会を良くする動きの1つである政治への主体性を持った関わりが広がる必要がある。</p> <p>◎ <u>若者と政治をつなぐ活動と課題</u>  2012年より弊団体では「若者と政治をつなぐ」活動を続けている。特に身近な地域の政治や街のことを切り口とし、対話の場や情報提供を行ってきた。岡山においては昨年、岡大での授業実施、知事選をテーマにしたフリーペーパーの発行、若者を中心に多世代を巻き込んだイベントを計7回開催した。「街や政治の状況を知る」「自分と政治の繋がりを知る」「人から学ぶ」というアプローチを使っている。</p> <p>◎ <u>学校で“選挙”の学びが始まった</u>  一方、18歳選挙権への変化により、中学高校での政治に関する出前授業のニーズが急増し、選挙管理委員会の果たすべき役割が増加している。選管は部署としての特徴を活かして、「投票に行こう」あるいは「投票の体験をする」ということを伝えている。しかしながら、身近な地域の政治や街のことを知り、若者の学びや考えと政治家や社会の考えが接する場がない。</p> <p>◎ <u>協働による常設型のスポットの可能性</u>  そこで、弊団体のこれまでの経験と選管の出前授業などとの関連性を持たせた形での、常設のスポット運営事業により、若者に対して新たなアプローチをすることができると考える。</p> <p><b>2. 提案団体が果たす役割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常設型のスポットの運営と、その場での定期的なイベントの実施</li> <li>・ イベントの内容などをもとにした岡山市のことがわかる広報誌の作成と配布</li> <li>・ 大学生とともにスポット運営をすることによる、若者（大学生）の巻き込み</li> </ul> <p><b>3. 岡山市の担当課等が果たす役割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前授業でスポットの告知により、関心を持った学生のさらなるアクションの場を提示</li> <li>・ スポットでの広報誌などを使った授業の展開</li> </ul> <p><b>4. 期待する事業成果・目標値等</b></p> <p>◎ <u>新たなモデルづくり</u>  市の情報をもとにしたワークショップのモデルづくり。今後の出前授業や主権者教育のプログラムとして広めることができる。</p> <p>◎ <u>若者の政治参画へのきっかけとなる場の構築</u>  普段触れる機会の少ない市政の情報や現状を知ることによって市政への関心を寄せ、気軽に語り合えるスポット作りによって、地方政治への参画意識を高めることができる。  参加者には定期的にインタビュー等も行い参画意識の現状を把握。次年度のスポット運営に生かしていく。</p> <p>◎ <u>スポットでの成果を広めていく</u></p>

	<p>スポットでの成果や市の政治状況についての広報紙を作成し、大学、公民館、図書館などに置く。</p> <p><b>◎スポットを運営する若い世代への効果</b>  活動を通して地域との関わりを深くもつことができる。地域に愛着を持ち多様なスキルを身に付けた人材に成長することにもつながり、地域における人材資源の向上となる。またスポットの継続的な開催によってリピーターが現れることでさらなる人材資源の向上が見込まれる。</p> <p><b>◎地域社会への効果</b>  若い世代だけでなくスポットには大人側の参加も想定される。機会が少なくなっている世代を超えた交流を実現することができ、地域としての一体感を創出することができる。</p>
<p>事業の内容</p>	<p><b>1：若者と政治が出会うスポットの運営</b>  奉還町商店街内に若者が気軽に政治と出会うことができる拠点を作る。スポットには見出し付きの市の広報紙や新聞記事、若者世代が関心のあるテーマ（スポーツ・キャリアなど）と政治の繋がり状況などの岡山市政の様々な情報を置く。また、主権者教育などの専門知識を持っている人や大学生など、政治との関わり方を一緒に考えるコーディネーターを配置する。  出前授業などにより政治に関心を抱いた人や通勤通学途上の人などがふらっと寄り、政治に触れ、語り合う場を提供する。</p> <p><b>2：スポットでのイベント実施</b>  定期的にイベントを実施する。イベントでは、身近な地域の政治や街及び若者に関する様々なテーマと政治の繋がりを扱う。若者の関心が高いテーマを設けてイベントを行うことで多様な若者を巻き込む。（例：岡山市の観光について スポーツと地域の繋がりなど）  これらのイベントにおいては前述のとおり「人から学ぶ」「みんなで話し合う」ことに重点を置き、大学生や来場者と共にイベントを作っていく。また、行政職員、特定テーマについての活動を行っている市民団体関係者、政治家などを招き、グループワークやトークショーを通じて参加者とともに考えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大イベント：年1回実施（年度末に選管と連動し高校生も主役となるイベント）</li> <li>・ 中イベント：ゲストを招き計4回行うイベント。テーマをもとに実施し事業3、4と連動</li> <li>・ 小イベント：月1で運営メンバーがファシリテーターとなり実施する企画</li> <li>・ その他、集まっている若者が発案するイベントの実施も考えたい。</li> </ul> <p><b>3：来場者と政治行政をつなぐボード企画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 若者が街や市政に関する質問や疑問を書き込んでボードに貼り付ける。</li> <li>② 事務局で質問をまとめ、市役所や議会に届ける。</li> <li>③ 回答を期日までに得る。（文章の他、動画や音声も可）</li> <li>④ 回答を質問ごとに掲示する。</li> <li>⑤ 書き込まれた回答を市民が見て理解し、アクションを起こす。</li> </ol> <p style="text-align: right;">※2や5の内容との連動を行う。</p> <p><b>4：スポットの広報</b>  スポットの存在を多くの人に知ってもらい、通勤通学途上の人などがふらっと寄り、政治に触れ、語り合うことができる身近な場とする。そのために、ウェブ等を使って周知するとともに、中学、高校、大学などの学校との連携を進める。</p> <p><b>※以下審査会后追記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月の開設を前に、市内の中高などでの広報に力を注ぐ</li> <li>・ 出前授業の際の告知や、各校の先生へのアプローチなどを行う</li> </ul> <p><b>5：スポットでの成果の拡散</b>  スポットで実施したワークショップなどを元としたプログラムを作成し、出前授業の際の授業内容などとして利用できるものとする。</p> <p><b>6：学生や若者とともに作る</b>  これらの事業の運営に当たっては大学生を中心とした若者とともに、若者の意識や関心を考慮に入れながら運営を行っていく。中学生、高校生、大学生発案のイベントなどへとつなぎたい。</p>

<p>事業の実施体制</p>	<p><b>1. 総括責任者</b> 原田 謙介 (NPO 法人 YouthCreate 代表理事)</p> <p><b>2. 個別事業責任者</b> 野村 泰介 (野村教育研究所/岡山チームアドバイザー) 谷脇 理史 (岡山大学大学院/学生代表)</p> <p><b>3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ</b> YouthCreate は 2012 年の設立以来全国で様々な若者と政治をつなぐ活動を実施。2015 年から 2016 年にかけて、岡山において複数回の企画を実施している。 総括責任者の原田は YouthCreate の創設以前からの活動期間も含めると 9 年にわたり若者と政治を繋ぐ活動を進めており、様々な知見と経験を有する。また、政治や選挙に関する高校生向け副教材の執筆者の一人でもあり、全国の中高での出前授業の経験も豊富である。また、政治家と若者の交流イベントを全国で 40 回にわたり運営している。昨年にはこれまでの功績が認められ総務大臣賞を受賞。また、2016 年度より岡山大学非常勤講師を務める。 岡山チーム統括の野村は 16 年間高校教諭としての勤務経験があり、高校生の伴走者としての実績や経験が豊富である。 学生代表の谷脇は岡山大学内の様々なプロジェクトに関わると同時に、自身としても学生 Web メディアを運営している。</p>											
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1" data-bbox="475 797 1425 1025"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7 月～2 月</td> <td>スポットの週 2 回の常時開設</td> </tr> <tr> <td>計 13 回</td> <td>大・中・小各規模のイベントを実施</td> </tr> <tr> <td>計 3 回</td> <td>活動の内容を発信するための広報紙の制作・配布</td> </tr> <tr> <td>計 2 回</td> <td>運営に携わる大学生の獲得や研修会の実施</td> </tr> </tbody> </table>		月	実施事業内容	7 月～2 月	スポットの週 2 回の常時開設	計 13 回	大・中・小各規模のイベントを実施	計 3 回	活動の内容を発信するための広報紙の制作・配布	計 2 回	運営に携わる大学生の獲得や研修会の実施
月	実施事業内容											
7 月～2 月	スポットの週 2 回の常時開設											
計 13 回	大・中・小各規模のイベントを実施											
計 3 回	活動の内容を発信するための広報紙の制作・配布											
計 2 回	運営に携わる大学生の獲得や研修会の実施											
<p>実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割</p>	<table border="1" data-bbox="475 1144 976 1377"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>期待される役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学や大学コンソーシアム</td> <td>スポットの告知とスタッフ募集</td> </tr> <tr> <td>市内の中学校・高校</td> <td>スポットの告知</td> </tr> <tr> <td>図書館・公民館</td> <td>リーフレットや広報誌の配架</td> </tr> <tr> <td>岡山県選挙管理委員会</td> <td>中高でのスポットの広報など</td> </tr> </tbody> </table>	名称	期待される役割	大学や大学コンソーシアム	スポットの告知とスタッフ募集	市内の中学校・高校	スポットの告知	図書館・公民館	リーフレットや広報誌の配架	岡山県選挙管理委員会	中高でのスポットの広報など	
名称	期待される役割											
大学や大学コンソーシアム	スポットの告知とスタッフ募集											
市内の中学校・高校	スポットの告知											
図書館・公民館	リーフレットや広報誌の配架											
岡山県選挙管理委員会	中高でのスポットの広報など											
<p>事業の展望及び今後の活動展開</p>	<p><input type="checkbox"/> NPO がネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。</p> <p><input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。</p> <p>■ 次年度以後も協働での実施を希望。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p> <p>具体的な目標 (計画) があれば記載してください。 29 年度・30 年度は協働で行いながら効果の測定などを進める。 30 年度はこの拠点の運営に加え、市内のカフェなど若者が集う場をスポット支部と任命し、協力をお願いし、面への広がりを進めていく。 実績が固まる 31 年度を目安に一般施策化を目指す。</p>											

(様式第3号)

## 協働事業収支予算書

<b>提案事業名</b>	若者と政治をつなぐ場づくり事業
--------------	-----------------

### <収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	100,000	
	合同提案団体 負担金等	0	
	自己資金等合計(a)	0	
事業収入見込	イベント参加費	50,000	@1000×1回あたり10人×5回
事業収入見込合計(b)		50,000	
岡山市補助金申請額(c)		1,767,000	
収入合計(d)=(a)+(b)+(c)		1,917,000	

### <支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	事業実施人件費	816,000	@800×のべ1020時間(週10時間×年34週×3名)
	事業委託費	100,000	野村教育研究所に委託
	活動拠点賃料	64,000	@8,000×8ヶ月/使用の割合によって按分済
	研修費	20,000	@10,000×2回(講師謝金・会場費)
	広報費	150,000	広報紙制作・印刷費等
	イベント開催費	165,000	講師謝礼、人件費、消耗品費、チラシ印刷費等
	情報揭示費 雑費	30,000 40,000	パネル代、印刷費、その他資料代等 スポット用茶菓子代、消耗品代等
事業実施経費合計(e)		1,385,000	
管理運営経費	管理運営人件費	400,000	@40,000×10ヶ月
	OA機器レンタル費	52,000	@6,500×8ヶ月
	雑費	40,000	@5,000×8ヶ月
管理運営費合計(f)		532,000	
総事業費(g)=(e)+(f)		1,917,000	※収入合計(d)と同額

- (添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること  
2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること